

# 福島ひまわり里親プロジェクト

福島県は、2011年3月11日に発生した東日本大震災で、地震、津波、原発、風評被害と四重の災難に襲われました。

特に福島第一原子力発電所からの放射能漏れは深刻で、2ヶ月以上経った今でも、原発災害は現在進行中です。福島県内の地表には放射能が降り注ぎ、広大な農地や土壌が汚染され、農産物からも放射性物質が検出され、大気中の放射線の数値は一定のところから下がらなくなってしまい、福島県民は放射能という目に見えない恐怖に怯える生活を余儀なくされています。

そのような中で、土壌から放射性物質を吸収する植物として、ひまわりに注目が集まっています。

福島県では、復興のシンボルとしてひまわりの種を植えようとする動きが広がっています。

そこで、私たちは「福島ひまわり里親プロジェクト」を立ち上げ、福島でひまわりの種を購入して、里親になって全国各地でひまわりを栽培し、秋に種を採取して福島へ送っていただける方を募集しています。

【福島ひまわり里親プロジェクトホームページより】

## 佐知の田んぼに「ひまわり」植えて福島を応援しましょう！

上記のとおり、福島第一原発の事故で放射線物質の除去にひまわりが効果があるということで、「福島ひまわり里親プロジェクト」が結成され、全国各地でひまわりを育ててもらい、秋に種を取って送り返してもらう『里親』を募集しています。

この運動に協力し、佐知地区の皆さんや真坂小学校の子どもたちと一緒に活性化センター付近の休耕田（30a）でひまわりを育てることにしました。

すでに皆さん方も、これまでに募金活動、救援物資の提供など、いろいろな支援活動を行っていることと思いますが、復興までにはまだまだ膨大な年月、財源、人が必要です。佐知地区で少しでも役に立つことが出来ればと思い、この運動に取り組むことにしました。

多くの皆さん方のご協力をお願いいたします。

■ 日 時 平成23年8月7日(日) 午前8時～(作業終了後、福島の現状報告会)

■ 集合場所 真坂活性化センター ※多くの方の参加があれば作業は1時間程度で終わると思います。

■ 田んぼ 活性化センター南側の休耕田 約3反

※なお、種はプロジェクトの主旨に賛同した市内三保地区の有志の方が「福島ひまわり里親プロジェクト」より2万粒を購入し提供くださるものです。



当日は、福島県から「福島ひまわり里親プロジェクト」の半田真仁代表がお見えになります。作業終了後、活性化センターでひまわりプロジェクトのお話や大震災、原発被害の状況などの報告会があります。(90分程度)

福島の皆さんが大変な苦勞をされている現状を話していただきます。二度とない機会です。多くの皆さんのご参加をお願いいたします。

ひまわりで福島を応援する会 世話人

佐知地区 区長 久保根勝美  
農事法人さちっ子みらい  
組合長 黒沢 憲次  
竹馬会 会長 佐賀 一彦